

平成28年度(2016年度)

管理事業名	市民体育館事業				総合計画の 体系		第4章 第3節	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり スポーツに親しめるまちづくり		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	35	市民体育館費
部局名	都市魅力部	予算執行所属		文化スポーツ推進室						
予算大事業名		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名								
市民体育館管理事業										
事業の目的と概要										
指定管理者制度において、市民体育館5館(片山、北千里、山田、南吹田、目伎)の管理・運営を行うとともに、安全な施設の整備に努め、健全なスポーツ活動の場を提供します。										

I 事業の成果(実績)

指 標 名		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成 果 指 標 の 定 義
施設利用者数 目標利用者数 704,538人		人	640,341	647,184	666,062	片山・北千里・山田・南吹田・目黒市民体育館の利用者数
施設使用料収入額		千円	91,179	72,684	75,252	片山・北千里・山田・南吹田・目黒市民体育館の使用料収入決算額
成果 の 説 明	平成28年度(2016年度)から施設使用料の改定により、専用使用は引き下げとなり、個人使用(トレーニング)においては利用区分をなくし、開館時間のなかで低料金で、いつでも利用できる時間制に変更しました。					
	平成28年度(2016年度)の利用者数は、平成27年度(2015年度)比18,878人(2.9%)、平成26年度(2015年度)比25,721人(4.0%)増加しました。 また使用料収入は、平成27年度比2,568千円(3.5%)増加し、平成26年度は15,927千円(17.5%)減少しました。 平成27年度から市民体育館主催事業収入を「使用料及び手数料」から「その他雑入」に移行し、体育館使用料収入のみを計上したため、施設使用料収入額が減少となったものです。					

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	91,179	72,684	75,250	2,566
国庫支出金(経常費用充当)	124	154	171	17
府支出金(経常費用充当)	62	78	85	7
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	14,116	32,229	31,259	△970
経常収入 小計(a)	105,481	105,145	106,764	1,620
給与関係費	4,105	3,666	4,710	1,044
物件費	451,021	456,918	459,798	2,880
維持補修費	5,701	2,437	6,900	4,463
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	8	1	107	106
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	194,437	194,437	194,437	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	326	304	680	376
退職手当引当金繰入額	629	△140	1,779	1,919
支払利息	12,999	8,365	3,836	△4,529
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	669,224	665,987	672,248	6,260
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△563,744	△560,843	△565,483	△4,641
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△563,744	△560,843	△565,483	△4,641
一般財源充当額	541,284	543,864	523,494	△20,370
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△22,460	△16,979	△41,989	△25,011

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決 算 額 の 主 な 内 容
使用料及び手数料	使用料収入額 75,250千円
経常収入 その他	31,259千円 内訳 市民体育館主催事業 18,608千円 市民体育館行政財産目的外使用料 12,651千円
物件費	指定管理委託料 455,102千円 建築物・建築設備定期点検委託料 1,900千円 トレーニング機器等更新 2,754千円 消耗品 42千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	105,481	105,145	106,764	1,620
行政サービス活動支出	474,506	472,116	476,116	3,999
行政サービス活動収支差額	△369,026	△366,972	△369,352	△2,380
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	172,258	176,892	154,143	△22,749
財務活動収支差額	△172,258	△176,892	△154,143	22,749
収支差額 合計	△541,284	△543,864	△523,494	20,370
一般財源充当額	541,284	543,864	523,494	△20,370
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	財務活動支出: 地方債償還金
--------------	----------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指 標 名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりの コスト	平成26年度	640,341 人	1,045 円	市民体育館5館の利用者1人あたり、1,009円のコストがかかっています。
	平成27年度	647,184 人	1,029 円	
	平成28年度	666,062 人	1,009 円	
開館1日あたりの コスト	平成26年度	延べ1,795 日	372,827 円	市民体育館1館1日あたり、374,511円のコストがかかっています。
	平成27年度	延べ1,795 日	371,023 円	
	平成28年度	延べ1,795 日	374,511 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	154,446	15,193	△139,253
未収金	-	-	-	地方債	154,143	14,513	△139,629
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	304	680	376
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	7,555,495	7,361,058	△194,437	その他流動負債	-	-	-
土地	2,981,139	2,981,139	-	固定負債	47,994	34,800	△13,194
建物・工作物	4,574,356	4,379,919	△194,437	地方債	44,421	29,908	△14,513
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	3,573	4,892	1,319
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	202,441	49,993	△152,448
建物・工作物	-	-	-	純資産	7,615,924	7,573,935	△41,989
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	262,870	262,870	-	純資産の部合計	7,615,924	7,573,935	△41,989
図書館資料	-	-	-	負債及び純資産の部合計	7,818,365	7,623,928	△194,437
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	7,818,365	7,623,928	△194,437				

Ⅲ 財務構造分析

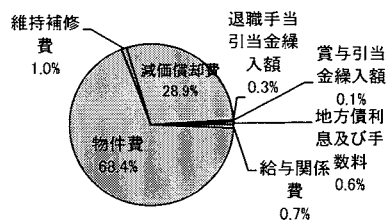
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	
事業従事人数	0.7人	人	日	人	
給与関係費等	7,169千円	千円	千円	千円	合計(千円) 7,169
内、時間外勤務手当	6千円				

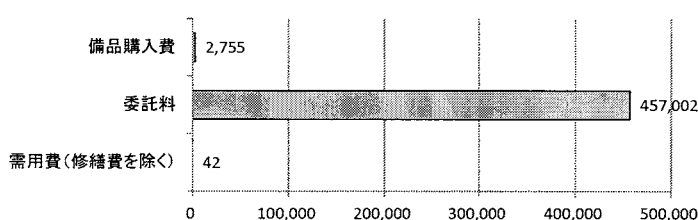
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	減価償却による減
土地	山田市民体育館、目黒市民体育館
地方債	地方債 154,143千円返済による減。(片山・目黒)
重要物品	絵画8点、書1点

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	片山市民体育館ほか4館
取得年月日	昭和47年(1972年)10月12日(共用開始)ほか
建物・工作物の取得価額	8,700,035 千円
建物・工作物の減価償却累計額	4,320,116 千円
利用料金収入	75,250 千円

▽分析指標

分析指標	年度	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		0.1	0.0	0.1	0.1
施設老朽化比率		45.2	47.4	49.7	2.3
受益者負担比率		13.6	10.9	11.2	0.3
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		83.7	83.8	83.1	△0.7
経常費用対公共資産比率		7.7	7.7	7.7	0.0

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

【貸借対照表】

・既存施設の老朽化が49.7%と2.3ポイント進行しました。

【行政コスト計算書】

・コスト全体の68.4%を物件費が占め、そのうち指定管理委託料が99%占めています。また、減価償却費がコスト全体の28.9%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

・片山市民体育館ほか4館の市民体育館は、平成25年度(2013年度)から指定管理者制度を導入しています。

・平成28年度(2016年度)に料金改定があり、利用者数、使用料収入ともに前年度を上回りました。

今後も、利用者の会議や市民アンケートなどを通して市民ニーズを把握し、情報共有に努めながら指定管理者(民間)のノウハウを活かした自主事業等を実施して、効果的、効率的な利用を図ります。

・平成28年度は、山田市民体育館第2体育室床補修工事(1,437千円)目黒市民体育館吸収冷温水機修繕(349千円)、片山市民体育館 クライミングウォールホールド修繕(1,685千円)目黒市民体育館 クライミングウォールホールド修繕(1,701千円)山田市民体育館第1・第2体育室排気インバータ取替修繕(605千円)北千里市民体育館第2体育室壁面補強工事(1,123千円)を行いました。また、平成29年度は山田市民体育館館内非常・業務放送設備(1,455千円)、南吹田市民体育館東館・西館外壁工事(47,731千円)を行う予定です。今後も備品更新・維持補修の財源確保も含め、計画的に維持補修を実施し、施設の長寿命化を図ることが必要です。